

第38回大会

日本思春期青年期精神医学会

Japanese Society for Adolescent Psychiatry

『思春期青年期の生活をとらえなおす』

2026年7月25日(土)・26日(日)

学会長 松田文雄 (松田病院)

大会長 河合健彦 (群馬病院)

会場 高崎市総合保健センター

1日目 7月25日(土)

西村 馨
(国際基督教大学)
早川 洋
(嵐山学園)
河合健彦
(群馬病院)

『思春期青年期の生活をとらえなおす』
シンポジウム

國分功一郎
(東京大学大学院)

『中動態、意思と責任、
行為のコミュニズム』
教育講演

松田文雄
(松田病院)

『若者と音楽』
★特別講演

当日参加 (後日オンデマンド付き)

	事前 申し込み	当日 申し込み
会 員	10,000 円	11,000 円
非会員	11,000 円	12,000 円
大学院生	なし	1日 4,000 円 2日 7,000 円

後日オンデマンドのみ参加

会 員 10,000 円
非会員 11,000 円

2日目 7月26日(日)

大橋良枝
(京都文教大学)
荒川美沙貴
(早稲田大学)
中村みどり
(Children's Views & Voices・
NPO法人全国子どもアドボカシー協議会)
奥村春香
(認定NPO法人第3の家族)

『支援のはざまにいる
若者について考える』
ワークショップ

斎藤佐智子
(群馬病院)
小平雅基
(愛育クリニック)

高橋周平
(群馬病院)
北原祐理
(筑波大学)
『メンタライジング・
アプローチの
アセスメントをめぐって』
★ワークショップ

Seth Aronson
(William Alanson
White Institute)

『「ワイルド・シングス」と
向き合う：
思春期グループの力と課題』
★特別講演

揖斐衣海
(KIPP心理オフィス)

『メンタライジングによる
青年への支援 (MBT-A)
について』
★教育講演

Holly Dwyer Hall
(Anna Freud)

『青年期の社会的基盤形成における
メンタライジングの役割：
集団の力を引き出す』
★特別講演

藤平和吉
(利根中央病院)

『学校と医療のあいだ』
教育講演

成田秀幸
(ジニアそだちの
クリニック)

『子どもの生活と
児童精神科診療』
市民公開講座

第38回大会ホームページ URL：
<https://sites.google.com/view/jsap38th/home>



日本思春期青年期精神医学会
第38回ぐんま大会事務局
〒370-3516
群馬県高崎市稲荷台町136
群馬病院内
E-mail: jsap38th@gmail.com

★: オンデマンドを予定しています

日本思春期青年期精神医学会事務局
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室内
E-mail: jsap.gim@gmail.com
学会ホームページ URL: <http://jsapnp.com/>